

平成26年度 伊万里市立黒川幼稚園評価結果

1 園教育目標
<p>☆ 『豊かな心を持ち、いきいきと活動する子どもを育成する』</p> <p>☆ 子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 明るく元気な子 ○ みんなと仲良くできる子 ○ 楽しく活動に打ち込める子 <p>☆ 黒川幼稚園スローガン 「友だち大好き！ 先生大好き！ 幼稚園大好き！」</p>
2 本年度の重点目標
<p>(1) 個に応じた支援の計画と実践 …… 一人ひとりのねらいを立て、支援の計画、実践を行う。</p> <p>(2) 豊かな心の醸成 …… 『伊万里っ子しぐさ』の活用、異年齢縦割り保育、家読の推進を図り、豊かな心の育成を目指す。</p> <p>(3) 幼保小連携 …… 保育園、小学校との交流を行い、幼保小の連携を図る。</p>

達成度 A：ほぼ達成できた
 B：概ね達成できた
 C：やや不十分である
 D：不十分である

3 目標・評価

(1) 個に応じた支援の計画と実践 …… 一人ひとりのねらいを立て、支援の計画、実践を行う。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	達成度	成果と課題	具体的な改善策・向上策
運営	○家庭教育力の向上 (子育て支援の推進)	・個に応じた支援の充実	・幼児一人ひとりの発達課題の把握と家庭と連携した指導・支援	・個に応じたねらいを立て、支援の計画、実践を図ると共に反省を支援に生かす。 ・家庭訪問、学期毎の懇談会を利用して家庭と連携した取り組みをする。	B	・個人の目標を設定することにより、概ね課題に沿った支援に取り組めた。 ・家庭訪問や個人懇談でお互いに話し、連携した取り組みを行うことができた。	・引き続き子ども達に寄り添い、かかわりを持つことで幼児理解に努める。 ・支援計画を簡潔に書けるような形式を工夫する。

(2) 豊かな心の醸成 …… 『伊万里っ子しぐさ』の活用、異年齢縦割り保育、家読の推進を図り、豊かな心の育成を目指す。

教育活動	●特色ある教育活動	・豊かな心の醸成	○異年齢縦割り保育の実践 ・週1回の園外散歩の実施 ・縦割りグループによる給食の実施 ○読み聞かせ・家読の推進 ・読み聞かせた本の記録や紹介 ・保育室や絵本の部屋の環境整備 ・家庭における読み聞かせ(家読)のため絵本の貸し出しの推進 ・町内諸団体との連携	・全職員共通理解のもとに異年齢縦割り保育に取り組み、内容を工夫する。 ・保護者参加型の保育の取り組みを充実させ、保護者の絵本活動への関心を高める。 ・お勧めの本の紹介や読み聞かせへの参加への働きかけ ・絵本の部屋の開放(14:00~15:00) ・黒川公民館・老人会・町内のお話会との交流 ・家読リレーの実践	A	・保育者間で好きな遊びについて情報交換することで、子どもたち同士も積極的に交流する姿が見られた。 ・家読に取り組む家庭とそうでない家庭との差がある。	・遊びの材料、方法など、職員間で情報交換を続けていく。 ・年度初めに、家読活動についての十分な説明と保育参観で、親子読み聞かせの時間をとり新入園児の親への理解に努める。
------	-----------	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	-------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

(3) 幼保小連携 …… 保育園、小学校との交流を行い、幼保小の連携を図る。

特定課題	●◎幼・保・小連携	・保育園や小学校との連携の充実及び強化 ・波多津東幼稚園との交流の推進	・隣接した保育園や小学校との交流を深め、小学校との接続をなめらかにする。 ・波多津東幼稚園との交流を通して公立幼稚園の職員としての意識を高める。	・小学校やたんぽぽ保育園との共通理解のもと、年間計画に基づいた計画的な交流の実施 ・公開保育の実施 ・日常的な交流の促進 ・波多津東幼稚園との合同研修会の取り組み	A	・小学校やたんぽぽ保育園と年間計画に基づいて、計画的な交流ができた。 ・公開保育を通して、研修を深めることができた。	・交流を通して育った子供の姿を、明確にしていく。 ・交流前の打ち合わせだけでなく、交流後の話し合いを行い、成果や課題を共通理解する。
------	-----------	----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------	---	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------

(4) 本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

運営	◎危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理に対する職員の共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修会の場を設け、危機管理マニュアル等の理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルを全職員に配布し、職員で内容を確認しあう。 不審者侵入、火災発生、地震発生、放射線漏れ等を想定した避難訓練を実施する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に、訓練を実施することで、スムーズに行動できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に起こるかもしれないという実態を想定しての話し合いや訓練が必要である。 職員研修を通して、危機管理における共通理解を図る。
教育活動	●特色ある教育活動	◎食べ物アレルギー等への対応	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物アレルギーの園児を把握し家庭と連携を図り、事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の献立表をチェックし、園児にアレルギー食材が含まれるものは食べさせないようにする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの連絡を受け、給食センターに伝え、アレルギー食材が含まれるものは食べさせなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も保護者や給食センターと連絡を取り合い、アレルギー等への対応をする。
特定課題	●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びを通じた体力づくりの推進 けが、病気予防の指導 給食や栽培活動を通じた食育 ◎食育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通して遊ぶ楽しさ、ふれあう喜び、気づくおもしろさを体験させ体力づくりへつなげる。 保護者へ感染症の情報発信と予防の対策 個に応じた給食指導の徹底(少量完食) 親子給食会や食育研修会を通して、保護者への啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの環境設定の工夫(気づく、楽しむ、発展する) 週1回の園外散歩の実施 お知らせ黒板を使った感染症の情報を発信すると共に、うがいや手洗いの徹底に努める。 ランチルームでの全員揃っての給食の取り組みで、嫌いな物でも少量完食を通して食べる喜びを味あう。 学級懇談会や個別懇談会を通して、食の大切さを理解させる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コンテナやスパークハーフなどの教材の工夫をしたことで、遊びが広がった。 お知らせ黒板を使った感染症の情報を早めに発信することができた。 少量を克服することで、自信になり、楽しい給食となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも教材研究を重ねていくことで、子ども達の遊びを充実させたい。 本園の情報だけでなく、市内の幼稚園、保育園等の情報も知らせるようにする。 天候や行事等の関係で、散歩の回数が少なかったため、自然に触れる機会と体力作りのためにも、行事の精選等を行う。

<p>4 本年度のまとめ・次年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員共通理解のもと、異年齢縦割り保育に取り組んだ結果、園外散歩や給食の時に、年長児や年中児の年小児に対する思いやりの心が芽生えてきた。 幼稚園の絵本活動の取り組みで、保護者の家読に対する関心が高まり、幼稚園の絵本の部屋だけでなく、黒川公民館の図書室や伊万里図書館で借りる人が増えてきた。 公開保育の実施では、保育園や、小学校との交流を生かし、また、波多津幼稚園の先生方との合同研修会を生かして、一定の成果を収めることができた。 個に応じた支援の在り方について、年度当初の計画に基づいた研修会を実施する。 子どもの発達や園生活等について、保護者への啓蒙の在り方を探る。 幼保小連携の充実した取り組みを行う。

●は県の共通評価項目 ◎は市の共通評価項目 ○は学校独自評価項目